

「市長のタウンミーティング」での発言の概要（大島会場）

- 1 日 時 平成23年1月28日（金）  
午後7時30分～9時
- 2 場 所 大島社会福祉センター3階大ホール
- 3 出席者 夏野市長、泉副市長、小井市長政策室長、米本行政管理部長  
寺岡次長、河原政策推進課長、稲垣財政課長
- 4 出席人数 220名
- 5 概 要

○ 本開発・男性

Q 大島中央公園に庁舎を整備して商工業の発展、維持ができるのか。

A 南部市街地の一部に連坦する場所であると認識しており、新たなまちづくりにはならず、既存の市街地の空洞化にもつながらないと考えている。

○ 小島・男性

Q 大島中央公園での整備には反対である。旧大島町は小さな町であり、運動場もなかったため、商工会等とも一緒になって、グラウンドの建設をお願いし、たくさんの人の協力があり、中央公園ができた。

A 今回の庁舎整備案が、中央公園の整備に当たってのご苦労を無視した話のように感じられたことはお詫び申し上げたい。

Q そもそも市長の新しい庁舎を建てないという公約と違うのではないか。どう整合性を取るのか。

A 統合庁舎建設ありきで議論を進めることを止め、資料等を改めて精査した上で統合庁舎の必要性や庁舎の在り方を十分議論していこうという趣旨であった。

- ・ この庁舎整備案が一番安上がりな方法というのなら、整備しないほうがよい。小杉や大門庁舎には部屋が空いているし、大門では庁舎東側の用地もある。その敷地内で整備すればよい。この案は、3庁舎による分庁方式ではないか。

Q テニスコートは、どんな財源で整備をしたのか知っているのか。

A 旧通産省の工業再配置促進費補助金が充てられたものと理解している。

○ 小島・男性

Q 中央公園は大島の宝である。最初は、統合庁舎が大島地区に来ると喜んだ。しかし、よく考えてみると、市長は、選挙で庁舎建設中止と言っていたはずである。マニフェストは、住民と契約したものであり、それを変えるのであれば、まず十分説明をすべきである。いきなり大島中央公園に庁舎整備をするという説明は、順序が違うのではないか。

A 先ほどお答えしたとおり、統合庁舎ありきで進めていくのではなく、しっかりと議論した上で進めていきたいということをご理解いただきたい。

Q 議会と議論をして、この整備案になったというが、1,000 億円余りの市債を抱える中、どれだけ本当にお金をかけられるのかを考えるべき。

A 分庁方式を続けることで多額の維持管理経費がかかることから、何らかの庁舎整備は必要であり、議会との議論を踏まえて今回の整備方針をご説明させていただいたことをご理解いただきたい。

## ○ 新開発・男性

Q 大島中央公園のどの辺まで土地を使うのか。

A 中央公園の全部を使うことは考えていないが現時点でははっきりとお答えできない。タウンミーティングで意見を聴き、また議会とも協議しながら、具体的な整備場所や面積を検討する。

利用状況や他の類似施設の状況等を考慮すれば、少なくともグラウンド、ヨシダ体育館、弓道場についてはそのまま残すことになると考えている。

Q 庁舎ができれば周辺道路にも影響がある。交通量がどのくらい増加するのか。近くに保育園や小学校があり、通学の生徒も通ることから歩行者の安全の確保はどのように考えているのか。

A 周辺道路には、歩道が整備されており、歩行者空間は確保されていると考えている。交通量の増加が予想されることから、交差点については、信号機が必要なのかも含めて、基本計画の中で細かく検討したい。

## ○ 小杉・男性

Q 新庁舎建設には反対。市には1,000 億円余の借金がある。80 億円もかけて整備することができるのか。あわてて整備する必要があるのか。

A 先ほど説明したとおり、分庁舎の維持管理費や改修・建替え費用など多額の経費がかかることから、少しでも早く庁舎を整備した方が良く

考えている。

## ○ 八塚・男性

Q コミュニティ体育館やテニスコートを無くさないでほしい。他の地区の施設を利用すればよいと言われるが、どの施設にも既に複数のクラブが使用している。

A 利用者それぞれの思いがあることは承知している。タウンミーティングでの意見を踏まえ、議会と協議しながらどのように進めていくのか考えていきたい。

Q 大島中央公園を使うとすれば、代替地が必要なはずである。他の地区で整備されると困る。

A 代替地を求めず、なんらかの代替措置を講ずることも可能ではないかと考えており、調査・検討しているところである。

何よりも住民や利用者のご理解を得ることが先決である。ただし、何もつぶさずに庁舎を建てることは難しいと考えている。なお、施設内での移設等が可能なものについては、それも検討しながら進めていきたい。

Q 公園内には、モニュメントがあるが、作者や費用を教えてください。また、著作権などの関係で勝手に移設や廃棄はできないはずである。

A 外国人によるデザインと記憶しているが、整備費用等については掌握していない。

## ○ 赤井・男性

Q 庁舎整備をするのであれば、いらぬ公共施設をすべて売却し財源にすべきである。まずは、公共施設の売却を進めるべき。

また、売却した際にはその金額等を速やかに市民に報告すべき。施設が増えて、維持管理費が嵩むだけということは止めてもらいたい。

A 市内には合併前に整備された類似の施設があり、それぞれに思いがあって建てられたことは理解しているが、合併効果を発揮するためには、行財政改革として施設の統廃合をしていかななくてはならないし、庁舎も同様である。

発言はもっともであり、肝に銘じて進めてまいりたい。

## ○ 若杉・男性

・ 大島小学校の整備の問題もある。大島中央公園を利用する子どもたち

もたくさんいることから、それに代わるような小学校の整備をするというのであれば、賛成したい。

### ○ 中太閤山・男性

Q 大島中央公園の場所は、軟弱地盤と聞いている。液状化等を考えれば適当な場所とは言えないのではないか。

A 来月各戸に配布予定の地震防災マップを見てもらいたいが、丘陵地を除けば、市内どの場所もそう変わりはない。地震等の災害に対する備えや知識の蓄えを十分にすることが大事である。

庁舎の建設に当たっては、耐震・免震構造等により一定の対策は可能であると考えており、設計に当たっては留意したい。

Q 新庁舎と大島庁舎の併用はムダではないか。小杉庁舎の敷地に思いきって大きな庁舎を建てた方が良いのではないか。

A 小杉での増築も含め、いろいろなパターンの試算を行った結果の整備案であり、最も経費がかからない方法であると考えている。

Q 庁舎を整備した時点で職員数 300 人にはできないのか。

A 参考資料に示したとおりであるが、職員数の削減については継続して取り組んでいるが、1～2年でできるものではない。

### ○ 不明・男性

Q グラウンドがなくなることが心配である。小学校のグラウンドは使いにくい。

庁舎整備にお金をかけて大島小学校の建設等にお金がまわってくるのか心配である。庁舎の整備は反対ではないが、まずやらなければならない小学校の耐震化等整備を先にやって、それから庁舎の整備をするべきではないのか。

A 庁舎整備を優先して小学校の整備を後回しにしているということではない。小学校の耐震化も計画的に進めている。国の補助金を活用しており、補助金が付き次第、前倒してどんどん進めていくことにしている。

### ○ 不明・男性

Q 大島小学校の耐震化工事はいつ実施する予定なのか。

A まだ予算査定段階であり、はっきりしたことは言えないが、大島小学校の整備については、新年度の予算の中で設計費を計上したいと考えて

いる。

## 「市長のタウンミーティング」での発言の概要（大門会場）

- 1 日 時 平成23年1月31日（月）  
午後7時30分～9時10分
- 2 場 所 大門総合会館6階こぶしホール
- 3 出席者 夏野市長、泉副市長、小井市長政策室長、米本行政管理部長  
寺岡次長、河原政策推進課長、稲垣財政課長
- 4 出席人数 112名
- 5 概 要

### ○ 小島・男性

- ・ 庁舎は、役所仕事（行政事務）の拠点に、災害時の拠点施設としての役割が加わったと思っている。中越地震では、庁舎が情報の拠点となっていた。耐震は重要であり、大島地区に庁舎整備されることをうれしく思っており、大賛成である。
- ・ テニスコートやコミュニティ体育館が新しいものになればよいと考えている人は多い。大島中央保育園跡地に代替施設を整備してもらえれば理解が得られるのではないか。
- ・ JR越中大門駅を橋上化すれば、もう1つの市の顔になる。

### ○ 大門・男性

- ・ 結論めいた内容で、タウンミーティングをする前に、庁舎整備が決まったものと大半の人は思っている。
- ・ 小杉庁舎を本庁舎とすべきである。駐車場も多くあり、隣には歌の森公園もある。

Q 平成20年3月（平成22年3月の誤り）に策定された都市計画マスタープランには、大島中央公園はレクリエーション地区となっており、大島中央公園の適切な維持管理、施設・整備の充実に努めるとなっている。整合性が図られていないのではないか。

A 庁舎整備案については、昨年（平成22年）8月から本格的に議会との協議を行ってきたものである。平成22年3月時点では、庁舎位置は白紙であった。したがって、記載されていない。

Q 庁舎を建てることは、市長のマニフェスト違反ではないか。

A 新しいところで新しい統合庁舎建設ありきで、十分な議論もされないまま進めるのはいかがなものかと申し上げていた。市長就任来、資料等

を改めて精査した結果、統合庁舎は必要という結論に至ったものであり、その後、庁舎の在り方について議会と十分議論を行った。マニフェストにも庁舎の在り方を検証しながら、また、市民の意見も聴きながら決めていきたいと書いていたと思っている。

## ○ 中太閤山・男性

Q 市長の政治姿勢・理念に疑問を感じている。学校の耐震化率の進ちよく率が平均を下回っているのに、そういうことを置き去りにして庁舎を整備することが疑問である。

長野県庁は、今年耐震化工事をされる。そこには「県本庁を新築し、他施設を耐震化では、理解されにくい。したがって補修を行うことが合理的である。」とされている。こうあるべきと考える。

維持管理費を言うのなら、なぜ小杉小学校を大規模改修したのか。大島小学校、小杉中学校、射北中学校を今後すべて新築するのというのなら分かる。この場で約束してもらいたい。

学校の整備は遅れている。小杉中学校、射北中学校は、平成27年度までの計画にも入っていない。

A 学校については、国の積極策に沿って、前倒しで実施している。また、総合計画の実施計画の中期の見直しを行っているが、平成27年度までにすべての小中学校の整備を終了するよう検討をしているところである。

庁舎整備については、合併特例債が複雑にしている。庁舎整備は、政策の優先度は決して高くないが、将来必ず整備しなければならないのであれば、次の世代の負担を軽くするためにも、合併特例債が使えるうちに整備することが必要であると考えます。

現状の案は、これまでの議会との話し合いの中から見出された一定の方向性に沿ったものであることをご理解いただきたい。

なお、最終的な判断は、市民の皆さんの意見を踏まえながらしていきたい。

A 学校の整備は計画的に行っており、置き去りにしていると言われることはない。国の補助を入れながら、少しでも市の負担が少なくなるようにと考えるのが我々の義務である。

A 建替えをせずに耐震化で済ませる自治体の例もあるが、現状の庁舎の数や合併特例債の適用の有無などそれぞれ事情が違う。既に1庁舎で運

営し、合併特例債も使えないということであれば、耐震化で済ませると  
いうこともあり得る。

A 小・中学校の耐震化と併せ大規模改修を行っているが、設備はエコ対  
応の改修を行い、維持管理費の軽減に努めている。

## ○ 大門・男性

Q 新庁舎建設ありきの説明であるが、庁舎整備を急ぐ必要はないと考  
える。その理由としては、①市債が1,000億円を超えており、財政が  
危機的である、②既存庁舎の利用を先に示すべき、③すべての小中学校  
の耐震化工事の計画が決まっていない、④市長の公約との整合性の4点  
である。市長選挙は、庁舎が最大の争点であったはずである。

A 市債は、すべての会計を含めると約1,020億円である。しかし、  
その約半分は国・県からの措置が入るため、実質的な市の負担は、約5  
00億円ほどであり、市民一人当たり50万円くらいである。50万円  
といっても大きな数字であるので、今後も健全財政に努めたい。

A 現行、行政センターで行っているサービスを低下させないためにどう  
したらよいかを考えていきたい。庁舎整備の問題は、行財政改革の最も  
中心的な施策と思っており、大きな箱物（施設）がそのまま残ることが  
ないようにしていきたい。

## ○ 八塚・男性

Q 庁舎は何階建てを予定しているのか。

A 現段階では、5階建てを想定している。

## ○ 緑ヶ丘・男性

Q 大島中央公園は、交通の不便なところである。旧の新湊市は国鉄が通  
っていなかったため、発展しなかった。現在の交通網を最大限に活用で  
きる位置に新庁舎を建てるべきと考える。

A 大島中央公園は、決して交通の不便なところとは思っていない。

先ほども越中大門駅の南北橋上化の話もあったが、これからの問題と  
思っている。

市内にはコミュニティバスが走っており、庁舎が整備されれば、そこ  
を中心とした路線の見直しも行い、交通弱者の方の足の確保に努める。

また、高速道路小杉ICと港を結ぶ国道472号の交差点から約70



0 mであり、小杉 I Cまで車で10分もかからない。

Q 大島中央公園周辺には、図書館も文化ホールもなく、やはりレクリエーション施設であると考えている。今後のまちづくりに周辺施設にいくらかかるのかが示されていない。

A まちづくりという観点では、大島中央公園周辺には、既に大島絵本館、ヨシダ大島体育館、コミュニティ体育館、弓道場などがあり、新たな公共施設の整備は必要がないものと考えている。

Q 会場の入り口で資料を配布されても理解できない。事前に配布すべきではないか。

A ご意見については、資料と一緒に配布したアンケート用紙を利用してほしい。また、ようこそ市長室や市長への手紙、市へのメールなども利用していただき、意見を寄せていただきたい。

## 「市長のタウンミーティング」での発言の概要（下会場）

- 1 日 時 平成23年2月1日（火）  
午後7時30分～9時15分
- 2 場 所 下村公民館1階ホール
- 3 出席者 夏野市長、泉副市長、小井市長政策室長、米本行政管理部長  
寺岡次長、河原政策推進課長、稲垣財政課長
- 4 出席人数 101名
- 5 概 要

### ○ 海老江・男性

- ・ 自治会連合会、地域振興会で話し合っている。1日も早く統合庁舎を建設し、一体感を出すことや無駄の排除に全力を尽くすことが必要と考える。
- ・ 東部地域（堀岡、海老江、本江、七美、下地区）は、建設場所は議員に一任したいと考えている。現在の案は、ベストではないが、ベターの中のベストと思っており、大島庁舎も含め、1日も早く統合してほしい。
- ・ 庁舎整備は、重要な課題でもあり、5箇所だけではなく、もう少しきめ細かくタウンミーティングを行ってもらいたかった。そうすれば、住民の理解も深まったのではないかと。

Q 庁舎の跡地利用についてだが、下地区は、コンパクトにまとまっている。利用方法については、住民の意見を聴き、取り上げてもらいたい。

A 跡地利用については、地域の振興につながることを第一に、時間をかけて真剣に考えていきたい。

### ○ 加茂中部・男性

Q 行政の効率化という観点からも、統合庁舎は必要と考えている。

冒頭に、「政策優先度としては社会福祉の充実、教育環境の整備が上位」とあったが、これは市全体にかかわる重要事項であり当然のことと思うが、庁舎整備との関連で何か目的とかあるのか。

A 高齢化社会、人口減少社会を迎える中、福祉や教育にさらに重点を置くことになるため、庁舎はできるだけ経費を抑えて建設すべきであるという意味である。

Q 庁舎の場所については、市の中心部に近い場所ということだが、東部地区からすると、かなり西側に寄った感じがしている。ホールや集会施

設、高度教育機関、研究施設と近い場所がいいのでは、という声があることも申し上げておく。

A 庁舎の場所は重要課題であり、議会と時間をかけて協議してきた。

Q 統合庁舎後の窓口サービスについてだが、この地区からは統合庁舎までかなり離れる。農村地域でもあり、高齢者が多い。また、下地区行政センターには、1年間で証明発行や各種届出がそれぞれ1万件、相談件数もかなりあり、東部の拠点となっていることから、一定の行政サービスを確保してもらいたい。

跡地利用については、市長は市全域の均衡ある発展を公約されている。人口の減少率が高いこの地区に、若者の定着につながるような跡地利用をお願いしたい。

A 窓口サービスや跡地利用については、重要なことであり、地元の皆さんと地域課題について協議しながら、時間をかけて、誠実に考えていきたい。

- ・ 庁舎整備案を推進し、実現されるよう要望する。

## ○ 戸破・男性

Q 統合庁舎は基本的に賛成だが、新築することは反対である。

今、早急にしなければならないのは小中学校の耐震化であると思う。災害発生時には、学校は住民の避難施設になるが、庁舎は避難施設にならない。

A 小中学校の耐震化も積極的に進め、早期に完了できるよう努力している。庁舎は避難施設にならないということだが、災害発生時には、庁舎は災害対策本部として、災害復旧の指揮系統、支援の受け入れ、災害ボランティアの受け入れなど重要な役割を担っている。

Q 今日の資料は、新築ありきである。松本市などは、耐震化だけであり、布目庁舎も1,800万円で耐震化をしたはずである。小杉庁舎を、急場をしのげる耐震化工事だけすれば、莫大な合併特例債を使う必要もない。既存の2~3庁舎を改修し、ある程度絞って使うことも考えるべきではないか。分庁舎は、金がかかるといえるが、跡地利用の協議に5年、10年かければ、分庁方式を続けるのと何ら変わりがない。

A 新築ありきということだが、これまでも既存庁舎を活用した場合、既存庁舎に増築した場合など、様々な試算を行ったが、現在の案が一番経費がかからないということである。

布目庁舎は、上下水道部が入っており、ライフラインを管理する施設である。災害対策本部が入る本庁舎も大切であるが、ライフラインの復旧にあたる現地の災害対策本部として重要な役割がある。布目庁舎は、敷地もあるので、災害時の支援の受け入れも可能であり、必要な庁舎と考えている。将来的には、本庁舎と布目庁舎の2庁舎で行政運営することが一番経費がかからないと思っている。

また、布目庁舎は公営企業会計の資産であり、公営企業資産として償却していくことが有利であると考えている。

- A 跡地利用について、悠長に構えてはいけないう意見であるが、10年後には、普通交付税が19億円少なくなることは承知しているので、その期間を視野に入れながら、また、地区住民と意見を聴き、協議しながらではあるが、拙速にはせずに、財政規模も考慮しながらしっかりと進めていきたい。

#### ○ 不明・男性

- Q 窓口サービスについて、福祉や高齢化に伴う問題が増えていると思う。住民の身近なところで行政サービスが受けられることを検討事項に加えてもらいたい。
- A 窓口サービスについては、市民の皆さんが一番心配されていることだと認識している。将来の高齢化なども念頭に置きながらできるだけ早く結論を出せるよう十分協議したい。

#### ○ 本江・男性

- Q 庁舎整備については、東部地区の自治会長が集まり検討をしてきた。統合庁舎は、コンパス（市）の真ん中と考えていたが、南北についてはよいが、東西では西に寄り過ぎかなと思っている。
- 庁舎整備を機に、市全体の交通体系の確立が必要ではないか。国道・県道・市道が整合性を持った交通体系を考えてほしい。
- A 庁舎整備に伴う交通体系は重要な課題であり、真剣に考えなければならぬと考える。
- 庁舎の位置が西よりであるとのことだが、「市有地を活用する。」「経費をかけない。」ということから現在の場所を候補地としたものであり、ご理解をお願いしたい。

## ○ 堀岡・男性

・ 射水市射水町に庁舎を建てれば、一番分かりやすいし、旧堀岡小学校の跡地もあり、お金がかからないと以前から言っていた。堀岡に庁舎が建てば堀岡の現状を市民に知ってもらえる。

Q 交通網の話が出たが、ぜひ考えてもらいたい。大島に庁舎が整備されたら、堀岡からどうやって行けばよいのか分からない。

A 交通体系については、ぜひ考えていきたい。庁舎整備に伴い、道路整備という話も出てくるかもしれないが、既存の道路を生かし、当面は整備費をかけないようにしたい。

## ○ 加茂中部・男性

Q 合併特例債は、庁舎に使う額に限度があるのか。

A 限度額はないが、中に入る職員数により起債の額が決まる。できるだけ少ない額になるようにと考えている。

Q 市民に必要なのは活気である。新庁舎は市民が誇れるようなものにしてもらいたい。小さなことに惑わされずに進めてもらいたい。

跡地利用については、連坦する土地開発を行い、均衡ある人口増対策を行ってもらいたい。

庁舎の場所は、この案が良い。

A 跡地利用については、地域の振興につながる跡地利用を目指すことが第一と思っている。

## ○ 海老江・男性

Q 一年でも早く建設をしてほしい。

今回の案は、以前示されていた規模よりも小さくなっている。今の敷地面積で、災害時の広場があるのかが心配であるし、バスターミナルも必要ではないかと思う。

新庁舎は何階建てで建設費はどれくらいを考えているのか。

A 建設費は43億8,800万円で5階建てを想定している。

また、以前とは新庁舎に入る職員規模が498人から300人となったため、延べ床面積が小さくなっている。将来的には、職員数の削減により新庁舎と布目庁舎での行政運営を考えている。

A 災害時の広場としては、グラウンドやテニスコートがあり、避難場所として、支援物資の搬入場所としての活用ができると考える。

- ・ 市税の低迷、人口の減少、普通交付税の減少など悪いことばかり考えているように思える。射水市が伸びるんだということを考え、射水市民が市の庁舎はここにあるんだと自信を持って言えるような、30年後、40年後を考えた立派なものを建設してほしい。

## ○ 小島・男性

- Q 市と議会で協議して決まってしまうっており、市民が何を言っても無駄だという声もある。
- A この件については、議会と公開の場で十分協議をしてきた。議会は市民の代表であることから、重視することは当然であるが、市民の意見を無視して、議会と市当局とだけで進めているという言い方は違うと思う。そのためにタウンミーティングを行っているし、市長への手紙、市長のまちなわりなど、様々な機会を捉え、市民の意見を聴いている。
- Q 大島中央公園は都市計画公園であり、簡単に変更はできない。災害時にはグラウンドに資材等搬入というが、周りに土手があり、ヘリコプターを持ってこなければ搬入できない。交通アクセスも問題である。
- A グラウンドは東西140m、南北120mあり、ヘリポートとして十分使えると思う。この場所は、公共施設も整っており、災害時にも十分対応できるものと思っている。

「市長のタウンミーティング」での発言の概要（小杉会場）

- 1 日 時 平成23年2月3日（木）  
午後7時30分～9時20分
- 2 場 所 アイザック小杉文化ホール まどかホール
- 3 出席者 夏野市長、泉副市長、小井市長政策室長、米本行政管理部長  
寺岡次長、河原政策推進課長、稲垣財政課長
- 4 出席人数 320名
- 5 概 要

○ 大江・男性

- Q 新庁舎建設は財政破綻計画であり、将来にわたり射水市民を苦しめるものである。新庁舎建設計画の撤回と既存庁舎の増改築計画の提示を求める。
- A 厳しい財政状況であるからこそ、現状の分庁方式を継続できないのであり、市の将来を見据えた場合、経費を抑えることのできる新庁舎の整備が良い方策である。

○ 中太閤山・男性

- ・ 新庁舎は、既存庁舎のいずれかの敷地に整備するのがベストだと思っている。
- Q 小杉庁舎の売却の目途がないのであれば、庁舎の残存価値からすると市が損をすることになるのではないか。
- A 跡地利用については、遅くとも平成26年度までには何かしらの方向を出さなければならないが、時間をかけすぎず、情報収集や交渉等しながら、小杉地区にとってどのような跡地利用が良いのか十分検討した上で決定していきたい。
- A 耐震性能が不足していることなどから、そのままの状態での売却は困難であると思っている。
- 取り壊したからといって直接の損害にはならないと思っている。

○ 橋下条・男性

- ・ 30年間での試算はまったくナンセンスである。合併特例債は、学校耐震化にも活用できるのでから、それを優先し、財政健全化の見通しが立ってから庁舎を建設すれば良いのではないか。

- ・ 市は、分庁舎に要する費用の圧縮に取り組んでいない。
- ・ 分庁舎に不便を感じているのは、職員と議員の一部だけである。
- ・ 庁舎が必要だと言うのであれば、既存庁舎の敷地に10～15億円で増築したら良い。

### ○ 南太閤山・男性

- ・ 分庁方式ではランニングコストがかかってしまい、イニシャルコストをかけてでも庁舎を建てた方が経費を低く抑えられるということなので、新庁舎の整備に賛成である。
- Q 新庁舎の整備に当たって、PFIなど民間を活用することは考えてないのか。PFIでも合併特例債は使えるはずである。
- A 現在のところ、PFI方式は考えていないが、一つの案として今後検討していきたい。

### ○ 太閤山・男性

- ・ IT化により分庁方式の問題は解決できる。多額の維持管理費についても行政改革を徹底することで解決できる。
  - ・ 分庁方式に要する118億円の根拠が不明であり、そんなにかかからないはずである。新庁舎を作ることには大反対である。
- Q 将来的な道州制を考えれば、このまま射水市として存続するかどうか不透明であり、時期尚早である。
- A 今回の整備案は、議会で決定された方針を踏まえた案である。タウンミーティングでの意見等を踏まえて最終的な決定をしたい。
- 分庁方式の試算は、前提条件（建築後50年で建替、20年で修繕）に基づき積み上げたものであり、数字としては間違っていないと思っている。

### ○ 戸破・男性

- ・ 市の説明はまやかしの説明である。車の例えも不適當である。
  - ・ 学校の耐震化が終わっていない。また、学校は建替えでなく耐震化で対応している。
  - ・ 庁舎整備により大島中央公園の面積が減り、将来的に公園が必要になればまた買うことになる。結果として土地を買うのと同じである。
- Q 小杉庁舎敷地はどれくらいあるのか。



- A 図書館を除き、18,000 m<sup>2</sup>である。
- ・ 小杉庁舎（敷地）の売却の問題や跡地利用を先送りにしている。
  - ・ 既存庁舎を耐震化する方法を考えるべき

○ **三ヶ・男性**

- Q 建物が何年使えるかは、メンテナンスの問題である。耐用年数50年の根拠は何か。
- A 総務省の法定耐用年数を採用している。試算する際に一律に採用している比較上の年数である。
- Q どれくらいの規模の地震を想定しているのか。
- A 震度は6弱から7強を想定している。
- Q 分庁方式は良くないと思っている。庁舎の統合は必要だが、どのような方法で統合するかが問題である。
- 庁舎を建てることによって知的労働生産性がどれだけ上昇するのか。どれだけ立派な庁舎を建てても職員が学習しなければ、サービスの向上はあり得ない。
- A 知的労働生産性については、承知していないが、今後研究していきたい。

○ **戸破・男性**

- ・ 今日初めて資料を見て、すぐに質問はできないし、タウンミーティング1回だけでは判断できない。27箇所ある公民館で開催してもらいたい。

○ **三ヶ・男性**

- ・ 現在の庁舎を活用しても、IT化で十分対応できるのではないか。新庁舎を建てるより効率的である。
- 耐用年数が到来したからといって建替えなければならないということはない。（北陸銀行本店、電気ビルに例えて）
- 市の試算は疑問である。

○ **三ヶ・男性**

- Q 市の財政計画に関する説明がない。他の施策と庁舎整備との優先順位に関する議論の経過の説明なくして納得できない。

A 今年度、総合計画の中後期計画の見直しをしているところであり、3月にはお示しできる。事業の選択と集中、事務事業の簡素化、職員数の削減等に引き続き取り組み、健全な財政運営に努めていきたい。

- ・ 分庁方式の118億円は大きすぎる。経費の計算が間違っているのではないか。

## ○ 大江・男性

Q 庁舎は災害時の拠点施設となるということだが、大島中央公園には高压線があり、地震の際、問題があるのではないか。

グラウンドを活用するというのであれば、小杉庁舎の隣にも歌の森運動公園がある。

A 鉄塔（高压線）が庁舎にどのような影響を及ぼすかについては、北陸電力と協議する必要がある。基本設計の中で再度検討していきたい。

Q 射水市だけの人口重心を考えるのではなく、県全体の重心も考え、小杉庁舎を増築することも検討してはどうか。

A あくまで市の重心に近いという観点で考えている。

## ○ 南太閤山・男性

- ・ 高齢者は、近くの庁舎での窓口サービスの恩恵を受けている。最終案が決まるまでに、各地区の窓口サービスの確保を担保してほしい。
- ・ 庁舎の整備方針は、住民投票で決めてほしい。

## ○ 八塚・男性

- ・ これからの射水市を担う世代の意見が聞こえてこない。
- ・ 市の整備方針案に大賛成である。

「市長のタウンミーティング」での発言の概要（新湊会場）

- 1 日 時 平成23年2月4日（金）  
午後7時30分～9時15分
- 2 場 所 高周波文化ホール 小ホール
- 3 出席者 夏野市長、泉副市長、小井市長政策室長、米本行政管理部長  
寺岡次長、河原政策推進課長、稲垣財政課長
- 4 出席人数 220名
- 5 概 要

○ 不明・男性

Q 将来的な市町村合併は避けられないと思うが、この整備案では、市町村合併がないことを前提としているのか。

A 今後当分の間、市町村合併はないものと考えている。なお、仮に市町村合併があろうと、道州制が進もうとも、住民に最も身近な行政サービスの拠点として一定の庁舎は必要である。

○ 作道・男性

- ・ 将来のまちづくりのビジョンを示してほしい。庁舎はランドマークである。夢を与えてほしい。
- ・ 人口重心付近（射水署建設地付近）に新規に建設し、行政施設を集約すれば、自然と商業施設等の誘致も可能なはずである。

新規に取得する場合に用地費7億円もかからないのではないか。また経済効果を考えると用地費分は圧縮できてしまうのではないか。

Q 現在、大島中央公園を利用している人たちは、庁舎整備によってどうなるのか。体育館等を残すとなれば、利用者の駐車場が不足するのではないか。

A 大島中央公園の敷地は、議会との共通認識の中から見出した候補地である。

大島中央公園に庁舎を整備することで、慢性的に不足している駐車場の問題も含め、既存施設と一体的な整備、活用が可能と考えている。

A 県との協議の中では、駐車場の問題も含め、公園全体をリニューアルする形で整備することも提案してもらっている。皆さんの意見、議会との協議を踏まえて慎重に取り扱っていききたい。

Q 若い人たちに商売のきっかけ、チャンスを与えるようなインキュベーション施設として、大島庁舎を利用してはどうか。

A 既存施設の有効活用や転用活用を軸に重複施設の問題を考えており、インキュベーション施設については、極めて重要な提案と思っている。今後の検討課題である跡地利用の中でも活かしていくことを考えたい。

Q 公園内のどこもつぶさないでどこに庁舎を建てるのか。職員の駐車場の確保も必要になる。交通渋滞を解消するための交通インフラの整備等にお金がかかる。商業施設の誘致等による経済効果を考えれば、新規に用地を取得して建設した方が将来的なビジョンもできるのではないか。

A 公園内の詳細なレイアウトは、これから詰めていく問題であり、この場での回答は難しいことをご理解いただきたい。

新たな用地取得については、議会との協議の中でもあったが、様々な不安要素があること、また新たな市街地の形成は、人口減少が見込まれる中では既成市街地からの活力の移動にすぎず、既成市街地の空洞化が懸念されることなどから難しい。

## ○ 庄川本町・男性

Q 市の中心部での新庁舎整備は、基本的には大賛成である。一日も早く実現するよう努めてほしい。

ただし、相当の経費をかけて整備した大島中央公園をつぶしてまで庁舎を整備することについては、異議がある。

財源の問題から既存の市有地で整備することになったと思う。北陸電力が火力発電所に1,000億円の投資をするという新聞報道があり、また今後さらなる投資も期待できることから、固定資産税の増収が見込めるはずである。財源がないという話は目先だけの話ではないか。

A 中央公園自体の機能にできるだけ影響を与えないように考えたい。

財源の問題だけでなく、用地交渉や埋蔵文化財の調査等各種の手續に時間を要することのリスクも考慮して今回の整備案に至ったことをご理解いただきたい。

- ・ 斎場、ゴミ焼却場と合わせて市庁舎の誘致をしたいという要望書が沖塚原自治会から出ているはずであり、そういうことも検討すべき。

## ○ 沖塚原・男性

Q コミュニティ体育館では大島太鼓をはじめ多くの利用があり、またテ

ニスコートやゲートボール場にも多くの利用がある。その施設をつぶして庁舎を整備することはナンセンスである。

A タウンミーティングで出た意見や、今後の議会との協議の中でどのように整備するのか決めていきたい。基本的に、できる限り公園の機能を落とさない整備方法を考えていきたい。

Q 大島企業団地を活用して庁舎を整備すれば、布目庁舎との一体運営も可能であると思う。国道472号からのアクセス道路を整備することで、射水警察署と市庁舎を核とした新しいまちづくりをしたら良い。

A 大島企業団地は、市街地から離れた田園地帯にあり、周辺整備に経費を要することが懸念されるとともに、本来の目的である工業用地として活用することがベストと考えている。

新たな市街地形成による既成市街地の空洞化が懸念されることから、第三の市街地形成は難しい。

## ○ 本町・男性

Q 新庁舎の整備には大賛成である。

絵本館の駐車場が不足していることから、市内に6つの体育館が必要なのか等重複施設の統廃合を含めて、中央公園の敷地を一体的に考えた整備を検討してほしい。

施設の維持管理費も相当かかることからハコモノ（重複施設）はいらなくなるのではないか。

庁舎はできるだけお金をかけずに建ててほしい。子や孫に借金を残したくない。

A 施設利用者の理解や地区バランス等を考慮しなければならないが、公共施設の適正配置は避けられず、策定予定の第2次集中改革プラン等に基づき、推進していきたい。

## ○ 庄川本町・男性

Q これまでのいろいろな意見を踏まえて、市長の最終的なビジョンとして、新庁舎の完成予想図のようなものを示してほしい。

A 意見の取りまとめの最中であり、最終的な整備方針はそれらを集約した上で決定したい。

庁舎の建物は、お金をかけず、できるだけシンプルで機能的であるべきと考える。

子どもと時間を過ごせるエリアとして、近隣の施設とあわせた一体的な整備の方法もあると考えている。

### ○ 不明・男性

Q 庁舎の整備は、今さら後戻りはできない。いろいろな問題はあると思うが、前に向かって話を進めていただきたい。

駐車場の問題はこれからの検討課題と思うが、前向きな答えを出していただきたい。新庁舎の駐車台数は何台を想定しているのか。

A 来庁者用として160台程度を想定している。職員の駐車については、庁舎の建て方によっても変わってくるので現段階では答えられない。たとえば地下駐車場等いろいろな方法は考えられるが、周辺の道路、交通の問題も含めて基本設計（計画）の中で検討していきたい。

### ○ 善光寺・男性

・ 今回の整備案に賛成である。

用件によって各庁舎を回らなければならず効率が悪い。ぜひ統合すべきである。ただし、コストダウンが絶対条件である。

・ 跡地の問題は、5地区のタウンミーティングだけでは不十分。単位自治会ごとにミニ集会を開くなど住民と対話していただきたい。

新湊庁舎については、防災や高齢者を念頭においた施策が必要と思う。

・ 市幹部とのテーマを絞らない「市民とのよろず談義」のような対話を実施していただければ大変ありがたい。

### ○ 本町・男性

Q タウンミーティングでの意見を聴いて整備計画を変更する余地があるのか。

A 市民の意見をいただいた上で最終的な整備方針を決めることとしている。

Q 大島小学校を大門小学校に統合した上で、その跡地に庁舎を整備し、大島庁舎と併用してはどうか。

大門高校等の県有地で適当な場所はないのか。

A 学校の統合は時間がかかる問題であり、地域性もあり地元との意見調整も大変である。

大門高校等の県有地についても1～2年で解決できる問題ではなく、

合併特例債の期限に間に合わない恐れがあるだけでなく、県有地であっても取得費がかかる。

議会との協議の中でも県有地の検討はしたが、実現には至らなかったという経緯がある。